

もりおか町家物語館修築工事の進捗状況等について

平成26年2月17日

商工観光部

1 事業の経緯

市は、鉦屋町の旧獺岩手川鉦屋町工場跡地内の町家や酒蔵など歴史的建造物を活用し、市民の暮らしの移り変わりを紹介する資料及び生活用品などを展示するとともに、さまざまな市民交流の場や機会を提供する施設として、「もりおか町家物語館」の整備を進めている。

22年度 基本計画策定，基本設計

23年度 実施設計

24年度 修築工事（建築主体，電気設備，機械設備）及び展示設計

25年度 修築工事（建築主体，電気設備，機械設備）及び展示製作委託，設置条例の制定，指定管理者の公募・選定

2 進捗状況等

もりおか町家物語館修築工事について、平成24年12月21日の議決に基づき契約額370,650,000円、中亀建設・熊谷工務店特定共同企業体が受注者となり、工事を進めてきたが、「大正蔵及び文庫蔵」の基礎石下部から想定以上のコンクリート基礎が出土し、当初予定していた揚屋工事を実施した場合、建物倒壊などの恐れがあることから、揚屋工事の施工を中止し、当初設計を見直さざるを得なくなった。

また、既存屋根材撤去後、屋根下地の歪みや木材の腐朽など想定以上に劣化していることが確認されたことにより、資材の交換のため当初計画の工期を大幅に上回ることとなった。

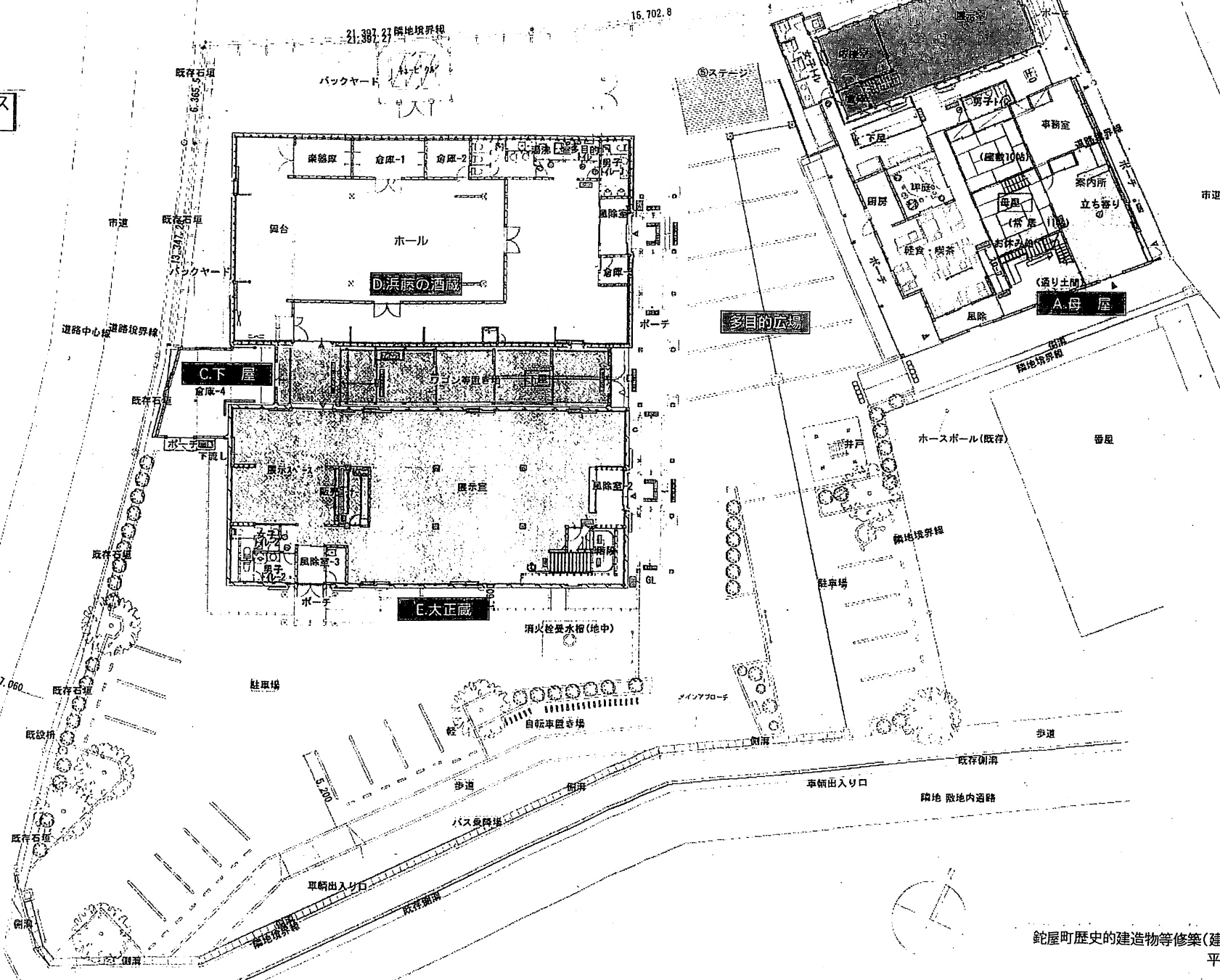
このことにより、当初は10月～11月に予定されていた外壁仕上げのしっくい壁の工事が、冬場工事にずれ込むこととなったが、しっくい壁工事は5℃以下になると工事ができないため、工期を延長し、しっくい工事を4月中旬以降の工程に組み直さざるを得なくなったものである。

3 今後の予定

蔵に使われていた柱、壁及び屋根素材について、基礎調査以上に腐食が進んでいたことから、修築費用が増額となることや、建築資材の値上がり等による契約金額の増額が生じる見込みとなっており、3月議会定例会で補正と繰越について審議をお願いする予定としている。この契約金額の増額については、工事全体金額の確定後に仮契約し、6月議会に付議する予定である。

なお、工事工程の見直しに伴い、工事完成予定が7月上旬となるが、当初予定どおりの7月28日開館を目指すこととし、内装工事が完成した部分から、展示物の搬入、設置等を行う。また、5月から本施設指定管理者に開設準備業務委託を行い、開館準備と工事作業を並行して実施する。

ユニバース  
鉾屋町店



鉾屋町歴史的建造物等修築(建築主体)工事 その2  
平面図